

あすプロ野球ドラフト会議

立石（創価大）複数球団1位指名か

プロ野球のドラフト会議が23日に開かれる。広島が1位指名を公表している創価大の立石正広内野手の評価が高く、複数球団の1位指名が予想される。

大学生に好選手がそろった。西武が明大の小島大河捕手の1位指名を発表。明大の毛利海大投手、青学大の中西聖輝投手も上位指名が確実だ。

高校生では、春夏の甲子園大会を沸かせた健大高崎高（群馬）の150センチ右腕、石垣元気投手も重複指名が有力か。岩手・花巻東高で140本塁打を放った米スタンプフォード大の佐々木麟太郎内野手が指名されるかも注目だ。

小林、十鳥（八学大）、横山（青中大）に注目

青森県関係5人志望届提出

プロ野球のドラフト会議で、青森県関係では大手、青中大の横山永遠投手（八学光星高出）、青森大の藤澤主樹投手。高校生は青森山田高の伊藤英司内野手のみ。

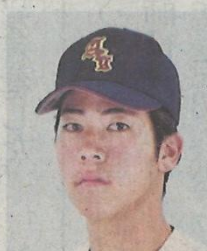
大学生は八学大の小林



小林直生
（八学大提供）



十鳥真乙
（八学大提供）



横山永遠
（青中大提供）

小林は聖和学園高（宮城）出身で、150キロを超える直球が武器の右腕。北東北大学野球秋季リーグ戦では3季ぶりの優勝に大きく貢献し、最優秀選手に選ばれた。十鳥は東京実高出身の左のスラッガー。主将と

してもチームをけん引する。

横山は、直球の最速151キロで、多彩な変化球も魅力。打撃も良く、ミート力がある。八学光星高時代も提出したが指名はなく、今回が2度目の挑戦となる。

藤澤は岩手・黒沢尻工高出。長身から投げる角度のある直球を武器とする。

唯一の高校生の伊藤は1年秋からレギュラーに定着し、3季連続の甲子園出場に貢献。堅実な守備と粘り強い打撃を武器に活躍してきた。

（小嶋嘉文）